

CentOS

CentOS は Red Hat Enterprise Linux 互換の OS です。Red Hat 社の公開するソースコードから Red Hat 社の商標や商用のソフトウェアを除いてあります。CentOS 3 は Red Hat Enterprise Linux 3 に相当し、CentOS 3.9 は Red Hat Enterprise Linux 3 Update 9 に相当します。

Red Hat Enterprise Linux と Red Hat Linux または Fedora(Core) の対応は、

RHEL	RHL または FC(Fedora)
RHL 6.2E	RHL 6.2
RHEL 2.1	RHL 7.2
RHEL 3	RHL 9
RHEL 4	FC 3
RHEL 5	FC 6
RHEL 6	Fedora 12 / 13
RHEL 7	Fedora 19

となっています。

参考

- www.centos.org - The Community ENTerprise Operating System
- [Download CentOS 3 ISOs\(ミラー \)](#)
- [CentOS-FAQ/3.x - Linux FAQ for Desktop](#)
- [CentOS で構築する自宅サーバ](#)

インストール

CentOS のサイトから ISO イメージをダウンロードする。ブータブルになっているので BIOS で CD 起動が有効になっていればそのままインストーラが起動する。なんてね。

プロキシの設定

参考

- [とりあたまさんのおぼえがき : CentOS : proxy を使用する環境での設定](#)

Java のインストール

(2009.2.5 追記)1.4.2 は賞味期限が切れました。

java-1.4.2-sun-1.4.2.17-1jpp.nosrc.rpm が最新ようです。jdk は 1.4.2.19 が最新。

サン・マイクロシステムズ社の SDK は、

<http://java.sun.com/j2se/1.4.2/ja/download.html>

からダウンロードできます。

「J2SE SDK のダウンロード」をクリックすると一覧が出ますので linux 版をダウンロードします。ここからは英語のページになります。

上の方にある、「Accept License Agreement | Review License Agreement」のラジオボタンをクリックします。これをしないとダウンロードできません。

「j2sdk-1_4_2_16-linux-i586.bin」をダウンロードします。「self-extractingfile」をクリックするとダウンロードが始まります。

ただし、EL 用の rpm ではありませんので、上でダウンロードしたファイルから rpm のパッケージを作成します。

<http://www.jpackage.org/browser/rpm.php?jppversion=1.7&id=7851>

(2009.12.28 修正)

<http://www.jpackage.org/browser/rpm.php?jppversion=1.7&id=8469>

から、

```
java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.nosrc.rpm
```

というパッケージを入手します。

```
rpm -ivh java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.nosrc.rpm
```

でインストールします。これは、jvm やコンパイラをインストールするものではありません。

先ほどの「j2sdk-1_4_2_16-linux-i586.bin」から EL 用の rpm パッケージを作成します。

「j2sdk-1_4_2_16-linux-i586.bin」を「/usr/src/redhat/SOURCES/」に置きます。次に、

```
rpmbuild -bb /usr/src/redhat/SPECS/java-1.4.2-sun.spec
```

で rpm が出来ます。

```
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-devel-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-src-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-demo-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-plugin-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-fonts-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-alsa-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
書き込み中: /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-jdbc-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
```

というような、メッセージが出ているはずです。後は、これらの rpm ファイルを使って jvm とコ

ンパイラをインストールします。

```
rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
```

```
rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-devel-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
```

```
rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i586/java-1.4.2-sun-fonts-1.4.2.16-1jpp.i586.rpm
```

多分この3つで大丈夫だと思います。

Samba のインストール

Samba は CentOS 3.9 に標準であります。

```
rpm -qa | grep samba
```

で、インストール済みかどうかを確認します。インストールされていない場合は yum でインストールします。(2009.2.5 追記) この下にある「yum のアップデート」を参考にしてください。

最新は、3.0.28a です。下の URL から、ダウンロードできます。

(2008.5.30 追記) 最新は 3.0.30 になっています。

(2009.2.5 追記) 最新は 3.2.8 になっています。

(2009.4.21 追記) 最新は samba3-3.2.11-38.el3.i386.rpm になっています。

(2009.8.25 追記) 最新は samba3-3.3.7-39.el3.i386.rpm になっています。

(2009.12.28 追記) 最新は samba3-3.3.9-40.el3.i386.rpm になっています。

(2010.2.9 追記) 最新は samba3-3.3.10-40.el3.i386.rpm になっています。

(2010.2.24 追記) 最新は samba3-3.4.5-42.el3.i386.rpm になっています。

<http://ftp.sernet.de/pub/samba/3.4/centos/3/>

から

<http://ftp.sernet.de/pub/samba/3.4/centos/3/sernet-samba.repo>

をダウンロードして、/etc/yum.repos.d/ に保存します。

```
yum remove samba
yum install samba3
service smb start
```

あとは必要に応じて、

```
yum install samba3-utils  
yum install samba3-doc
```

samba3-doc でパッケージが足りないといわれるが、

```
http://dries.eu/yumconfig
```

から、

```
http://dries.eu/pub/dries-el.repo
```

をダウンロードして、/etc/yum.repos.d/ に保存します。

参考

- [Samba 3.2 の設定 : Netsphere Laboratories](#)
- [Samba のインストール](#)

cpan2rpm のインストール

samba3-doc では Jcode が要求されます。cpan2rpm を使うと簡単にインストールできます。

```
yum --enablerepo=atrpms install cpan2rpm  
cpan2rpm Jcode
```

最初の実行時にいろいろ聞かれますが適当に答えてください。出来上がったパッケージをインストールします。

```
rpm -ivh /usr/src/redhat/RPMS/i386/perl-Jcode-2.07-1.i386.rpm
```

```
yum install samba3-doc
```

これでめでたく samba3-doc がインストールできました。

- [CentOS で構築する自宅サーバ : cpan2rpm の導入](#)

swat の設定

```
/etc/xinet.d/samba
```

が swat の設定ファイルです。

```
chkconfig samba on  
service xinetd restart
```

で自動起動に設定されます。

参考

・ Samba サーバ構築、5 つのべからず：2008 年版 - kinneko@ 転職先募集中の日記

(2009.2.5 追記) 上で紹介されているページの賞味期限が切れていることに注意してください。

yum のアップデート

CentOS の Plus パッケージを有効にしてアップデート

/etc/yum.conf

```
#additional packages that extend functionality of existing packages
[centosplus]
name=CentOS-$releasever - Plus
baseurl=http://ftp.riken.jp/Linux/centos/$releasever/centosplus/$basearch/
gpgcheck=1
```

コメントをはずす。

```
# yum update
```

~

```
[update: yum 2.4.3-4.centos3.noarch]
```

~

yum が 2.0.8 から 2.4.3 にアップデートされるはずですが。

(2009.2.5 追記) yum を使うには以下のコマンドを実行してください。

```
rpm --import http://mirror.centos.org/centos/RPM-GPG-KEY-CentOS-3
```

Subversion のインストール

<http://summersoft.fay.ar.us/pub/subversion/1.4.6/rhel-3/i386/> から RHEL3 のパッケージをダウンロードします。2008.5.19 現在のリストです。

(2009.2.5 追記) URL が <http://summersoft.fay.ar.us/pub/subversion/1.4.6/rhel3/i386/> に変わっています。下のリストも古くなっています。

(2009.4.21 追記) <http://summersoft.fay.ar.us/pub/subversion/1.5.5/rhel3/i386/>

```
[ ] cvs2svn-1.2.1-1.noarch.rpm 14-Jun-2005 17:16 103K
[ ] httpd-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm 16-Mar-2008 15:56 1.0M
[ ] httpd-debuginfo-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm 16-Mar-2008 15:56 2.5M
[ ] httpd-devel-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm 16-Mar-2008 15:56 384K
[ ] mod_dav_svn-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 72K
[ ] mod_ssl-2.0.46-70.1.ent.i386.rpm 16-Mar-2008 15:56 109K
[ ] neon-0.24.7-1.i386.rpm 07-Jul-2004 20:13 53K
[ ] neon-debuginfo-0.24.7-1.i386.rpm 07-Jul-2004 20:13 186K
[ ] neon-devel-0.24.7-1.i386.rpm 07-Jul-2004 20:13 217K
[ ] subversion-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 1.4M
[ ] subversion-debuginfo-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 3.4M
[ ] subversion-devel-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 1.4M
```

```
[ ] subversion-perl-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 730K
[ ] subversion-python-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 928K
[ ] subversion-tools-1.4.6-1.i386.rpm 16-Mar-2008 15:55 189K
[ ] swig-1.3.25-1.i386.rpm 02-Jan-2006 19:01 2.4M
[ ] swig-debuginfo-1.3.25-1.i386.rpm 02-Jan-2006 19:01 677K
[ ] wxGTK-2.4.2-1.i386.rpm 27-Feb-2004 08:20 2.4M
[ ] wxGTK-devel-2.4.2-1.i386.rpm 27-Feb-2004 08:20 564K
[ ] wxGTK-gli-2.4.2-1.i386.rpm 27-Feb-2004 08:20 25K
[ ] wxGTK-static-2.4.2-1.i386.rpm 27-Feb-2004 08:20 2.2M
```

参考

- ・ [Subversion サーバ構築 - IT 技術の雑記帳](#)

(2009.12.28 追加)

- ・ [CentOS 3.9 に Subversion 1.5.5 を入れた | tanablog](#)

CVS のインストール

CVS は CentOS 3.9 に標準であります。インストールされているかは、

```
# rpm -qa | grep cvs
```

で確認してください。インストールするには yum を使います。

アンチウイルスソフトのインストール

- ・ [アンチウイルスソフト導入 \(Clam AntiVirus\) - CentOS で自宅サーバー構築](#)

Webmin のインストール

[Webmin ユーザグループ - WEBMIN.COM](#) 日本語公式サイトからパッケージをダウンロードする。

```
rpm -ivh webmin-1.400-1.noarch.rpm
```

(2009.2.5 追記) バージョンアップされています。

<http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.430-1.noarch.rpm>

(2009.4.21 追記) バージョンアップされています。

<http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.470-1.noarch.rpm>

(2009.8.25 追記) バージョンアップされています。

<http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.480-1.noarch.rpm>

(2009.12.28 追記) バージョンアップされています。

<http://prdownloads.sourceforge.net/webadmin/webmin-1.500-1.noarch.rpm>

webmin のアクセス

ブラウザから、[http:// サーバ :10000/](http://サーバ:10000/) でアクセスする。

Virtualmin のインストール

- ・ [Webmin](#)

(2009.8.25 追記)

```
# wget http://download.webmin.com/download/virtualmin/virtual-server-3.73.gpl.wbm.gz
```

```
# wget http://download.webmin.com/download/virtualmin/wbt-virtual-server-theme-7.4-1.noarch.rpm
```

(2009.10.23 追記) Subversion のプラグインの 4.0 は 3.70 以降にしか対応しない。3.70 も CentOS の 3.9 には未対応の様。

(2009.11.12 追記) webmin 関係の古いファイルは以下から入手できる様。

- ・ [Index of /gpl/wbm](#)

参考

- ・ [usermin と virtualmin のインストール - ぬきすぼラボ](#)

Webmin で Subversion を管理する

- ・ [RoR Wiki 翻訳 Wiki - TxD/Subversion\(google キャッシュ\)](#)

(2009.2.5 追記) google キャッシュでは見つからなくなりました。

[RoR Wiki 翻訳 Wiki - TxD/Subversion\(internet Archive\)](#)